

e-水プロジェクト

えりも高校生による襟裳岬周辺海域海洋マイクロプラスチック調査事業

幌泉郡えりも町本町 86-1

えりも観光協会

担当 副会長 田中照彦

えりも高校生が海洋マイクロプラスチックの調査をすることによって、地元民と観光客及び水産物購入者に周辺海域の環境保全と水産資源の保護に対する関心を高めま
す。

調査にあたっては、えりも観光協会の事業である「コンボートクルーズ」の昆布漁
船を使用することによって、漁業者を巻き込んだ事業となります。

事業の実施にあたって平成 28 年 e-水プロジェクトで事業を実施された「網走川流域
の会」にヒアリング調査を実施します。

調査方法や分析方法は「美幌博物館」の町田学芸員にレクチャーを受けます。

6月に学校が再開されることを視野に入れ、海上調査を6～9月に数回に分けて実施し
ます。安全性確認のため、修練航海を数回実施し、気象海象の良好な日にえりも高校
生・教員・役場職員等が乗船し海洋マイクロプラスチックを採集し分析します。

乗船定員が最大6名なので、高校生の乗船は1～2人となります。

9月～10月に調査を実施したえりも高校生がガイドとなって、海洋調査体験クルーズ

を実施します（当然ながら、操船、誘導等はえりも観光協会です。）このクルーズでは、えりも町の緑化事業を織り込み、e水に厚みを付けたいと思います。

この高校生による海洋調査体験クルーズは来年以降継続して実施できるようなプログラムを目指しe水プロジェクトの目指す持続性につなげたいと思います。

本来なら調査結果を「報告会」として発表したいところですが、新型コロナウイルス感染拡大防止から町田学芸員には現地指導と資料作成をお願いし、10月下旬～11月に高校生によるネット配信によって発表する予定です。

また、海洋環境保全と水産資源の保護喚起のためえりも漁協の販売する魚介類に「e水プロジェクト」のロゴを加えた「えりもe水の魚（仮称）」シールとリーフレットを作成し商品に添付し、商品価値向上も併せて目指したいと思います。尚、これら費用によってはリーフレットを作成せず、QRコード付きのシールに変更し、e水プロジェクトで実施した事業はスマホで閲覧とする可能性があります。

すでにマスメディアには本事業実施をリリースしていますので、取材等があると思われます。